

# 同性医師に相談したい

心身の悩みを抱えているものの「男性医師に相談するのが恥ずかしい」と受診をためらう女性が多い。女性医師が女性特有の病気を診察する専用外来や、女性スタッフによる検査が注目を集めている。県内で実施している医療機関を取材した。



女性に多い排尿の悩みについて説明する山本講師。徳島市の徳島大学病院

うした悩みに対応するため、徳島大学病院が2008年に開設した「女性泌尿器外来」では、女性医師と女性看護師が診療にあたっている。

山本恭代講師は「排尿の悩みは家族にも相談しにくく、手術が決まると初めて夫に打ち明けた人もいます。外出できなくなるなど生活に支障を来しても長年我慢していることも多い」と話す。

問診、尿検査や超音波検査をして、必要があれば内診や「コンピュータ断層撮影(CT)」などをを行う。こじんまりとした診察室は、医師と担当の看護師以外が入りしないように配慮されている。

腹圧性尿失禁は、膀胱や子宮などが下がらないように支える骨盤底筋を鍛える体操のほか、薬剤や手術で、骨盤臓器脱は骨盤底筋体操

## 女性専用外来や検診 県内で注目 産後不調や乳がん対応

や手術で治療する。骨盤底筋体操はパンフレットを見ても、力を入れていることが分かっていく。場合があり、医師が内診をしながら指導することもある。

金曜午前中のみ診察で予約制。開設当初は1日の受け入れ人数を4人としていたが、今では15、20人が受診している。山本講師は「こんなにも快適になるのなら、早く受診すれば良かった」という声をよく聞く。外出しやすくなることは生活の質を高める。ためらわずに受診してほしい」と呼び掛けている。

◆女性内科 13年に開院したひろこ漢方内科クリニック(徳島市国府町観音寺)は、女性特有の不調を診察する女性内科を掲げ、高橋浩子院長自身が長年悩まされた片頭痛が漢方薬で改善した経験を元に

に、漢方薬と西洋医学を併用した治療を行っている。漢方薬は適している」と話す。

受診者の9割が女性。そのうちの7割が産後不調や月経不調、更年期障害、産後の体調不良などで、頭痛やめまい、動悸や不眠が主訴。検査をしながら指導する。検査で原因が分かると、しっかりと話を聞くことも多い。

◆乳がん検診 女性特有のがんの検査。超音波検査。医師が直接乳房に触れる視触診がある。痛みへの不安を抱く女性もいるマンモグラフィでは、放射線技術師が撮影の目的や痛みを軽減するための対応などを細やかに説明し、不安を取り除くようにしている。他のスタッフが入りしない専用の診察室では、超音波検査の画面を見ながら医師が説明したり、セルフチェックの仕方を教えてほしい」と話している。

◆乳がん検診 女性特有のがんの検査。超音波検査。医師が直接乳房に触れる視触診がある。痛みへの不安を抱く女性もいるマンモグラフィでは、放射線技術師が撮影の目的や痛みを軽減するための対応などを細やかに説明し、不安を取り除くようにしている。他のスタッフが入りしない専用の診察室では、超音波検査の画面を見ながら医師が説明したり、セルフチェックの仕方を教えてほしい」と話している。

◆乳がん検診 女性特有のがんの検査。超音波検査。医師が直接乳房に触れる視触診がある。痛みへの不安を抱く女性もいるマンモグラフィでは、放射線技術師が撮影の目的や痛みを軽減するための対応などを細やかに説明し、不安を取り除くようにしている。他のスタッフが入りしない専用の診察室では、超音波検査の画面を見ながら医師が説明したり、セルフチェックの仕方を教えてほしい」と話している。

◆乳がん検診 女性特有のがんの検査。超音波検査。医師が直接乳房に触れる視触診がある。痛みへの不安を抱く女性もいるマンモグラフィでは、放射線技術師が撮影の目的や痛みを軽減するための対応などを細やかに説明し、不安を取り除くようにしている。他のスタッフが入りしない専用の診察室では、超音波検査の画面を見ながら医師が説明したり、セルフチェックの仕方を教えてほしい」と話している。

**女性外来・検診 連絡先**

- 徳島大学病院泌尿器科 (電話0878(0633)7101)
- ひろこ漢方内科クリニック (電話0878(024)9101)
- 徳島赤十字病院 (電話0878(32)2000)

### 乳房再建に18%前向き

民間調査 57%は否定的

手術経験者200人を対象にアンケートで実施した。対象者の手術の術式は、乳房の全摘出が49%、温存が51%とほぼ半々。3人に1人の33%が10年以上の治療歴があった。

「手術や手術以外の治療によって、手術した部分やその近くの肌」に何か変化があったか。88%が「あった」と答え、実際に乳がん手術を経験した人に乳房再建に「あった」と答えたのは「目立つ傷痕が残った」64%、「変形や引きつりがあつた」48%、「肌への痛み」40%、を含め、18%が再建に前向きな考え方をしていることが分かった。「なかった(複数回答)」は今年9月、美容医療オイル「バイオイル」の輸入発売元「ヤンパル社」が乳がんをめぐり、「再建した」5%、「再建する予定」1%、「再建する予定はないが関心はある」12%と合わせて18%が再建に前向きな考え方を示し、「今は考えていない」という中立的な考えの人が25%、「再建はしないつもり」という否定的な考えの人が57%だった。

乳房の再建や修正に前向きな考え方が18%、否定的な考え方が57%、中立的な考え方が25%だった。